



スペイン王国 ~憧れのスペインで和太鼓公演~

世界遺産ばかりのスペインとポルトガルで公演の機会に恵まれ、2019年5月に『和太鼓祭音』40人の大集団で出かけた。台湾で知り合ったギタリストのアドルフォさんが企画してくれた。

初日、マドリド美しい中世の街アルカラ・デ・エナレスの公演は選挙で中止、波乱の幕開け。

若者が一番喜んだのは巨大なサンティアゴ・ベルナベウスタジアム。サッカー試合はなかったがそれでも大感激。

翌日、ベッカム選手の息子も通った名門校で公演①。次の小学校でも皆、権兵衛太鼓に釘付け。カフェテリアでは英語で楽しく交流②。その後、コロン広場やマドリド王宮前で太鼓パフォーマンス。どこでも大変喜ばれた。

翌日、マドリドの少し南、古都トレドでは250年かけて造ったというカテドラル大寺院に目を見張る。

サンティステバン・デル・プエルトでは、ギタリストのエンリケさんのアレンジで、市役所前広場で演奏と子ども達の太鼓体験③。市長は途中で退席、残念と思っていたら「深夜0時からのミサに参加して市長の家に行こう」と誘われた。0時、ギター演奏と合唱、手拍子ノリ、まるでコンサートのよう。そして午前2時過ぎ、やっと市長に会えた④。

翌朝、イベリア半島のイスラム教徒支配最後の王朝として生まれたアルハンブラ宮殿を観光。何もかも規模が壮大。翌日のセビリア大聖堂前の木遣り太鼓演奏は格別だった⑤。

INFORMATION



スペイン王国

面積 50.6万km²
人口 約4.693万人
首都 マドリド
公用語 スペイン語

最後の3日間はポルトガル・リスボンへ。「すごく楽しい」「わくわくする」「こんな文化のある日本に行きたい」と見てくれた人達。「またスペインに来る、絶対」と参加した若者の決意。

祭音の公演は太鼓だけでなく踊りあり、樽演奏あり、太鼓劇ありの楽しい演目だ。いろいろあって丸ごとの日本文化をみてもらった旅だった。

(文・写真:和太鼓祭音 山本忠利さん)

おいしい 楽しい 世界のごはん!

アンゴラ料理

川崎市国際交流協会では、ネイティブ講師による料理と文化紹介の講座「ふれあい交流会」を開催しています。

今回は過去の講座から好評だった『アンゴラ料理』をとりあげて、「鶏肉のムアンバ」「トウモロコシのフンジ」をご紹介します。講師のルジア・マテウスさん(アンゴラ出身)に、家庭で美味しく作れるレシピを教えてくださいました。



鶏肉のムアンバ(Muamba de Galinha)

材料(4人分)

- 骨付き鶏もも肉…………… 4つ
- パームオイル…………… カップ1/3 (キャノーラ油も可)
- ピーナッツバター…………… 大さじ3
- ホールトマト…………… 1缶
- 玉ねぎ(中)…………… 1個
- ニンニク…………… 2片
- ローリエの葉…………… 2枚
- 酢(またはレモン汁)…………… スプーン(大)2
- 塩…………… 少々

作り方

- ① 鶏もも肉を関節の部分で2つに切り分ける。
- ② 鶏肉を塩とみじん切りにしたニンニクで味付けしておく。
- ③ 鍋に油を熱して、みじん切りにした玉ねぎ、トマト、酢、ローリエの葉を炒め、鶏肉も炒めてから水150ccを加えて煮込む。
- ④ 煮汁を少し取り出し、その中にピーナッツバターを加えて溶かし込み、全体がクリーミーになるように混ぜ合わせ、鍋に戻す。
- ⑤ 味見をして、塩加減を整えたら出来上がり。



トウモロコシのフンジ (Funge de milho)

材料(4人分)

- コーンミール(トウモロコシの粉)…………… 1500g
- 水…………… 500cc

作り方

- ① トウモロコシの粉を大さじ3~4杯だけ、半分の水に混ぜておく。
- ② 大きな厚手の鍋に、沸騰させた湯に、①を加えてよく混ぜる。
- ③ 木べらでかき混ぜながら残りのトウモロコシの粉を少しずつ加えていく。
- ④ 底にこびりつかないように、力を入れて混ぜながら、なめらかなになるまで加熱する。



Event & Lecture

イベント・講座案内

2020年度 後期 川崎市国際交流協会・センターのイベント・講座(予定)

外国人のための日本語講座(9月~12月)

●午前コース(火・金) 9月15日(火)~ 9時50分~11時50分

*1歳~3歳の子どもを あずけられます。

●夜間コース(水) 9月2日(水)~ 18時30分~20時30分

※いつでも はいる ことができます。

9月

民間交流団体国際交流事業補助金申請(受付中)

締切:30日(水)16時30分まで

川崎市の国際化に寄与する交流事業が対象。申請書は川崎市国際交流協会のホームページからダウンロードできます。

語学講座(10月~3月)

全12講座(英語で学ぼうイギリス音楽ほか、中国語、韓国・朝鮮語、フランス語入門など)

*全クラス若干名募集。ホームページからお申込ください。

川崎ジュニア文化賞 受賞作品展示 10日(土)~22日(木)

市内の小学5、6年生対象「川崎ジュニア文化賞」の絵画・作文の入賞作品を展示。

「生活にほんごサロン」研修会 無料

講師:地域日本語教育活動人材育成コーディネーター 吉田聖子

10月3日(土)、4日(日)、11月7日(土)、8日(日)、21日(土)

土日に1対1で、日本人サポーターが外国人市民に日本語を教える「生活にほんごサロン」。新しくサポーターになりたい人と現サポーターのための研修会です。

韓国語による国際理解講座 10日(土) 13時~15時

韓国をおもしろく楽しく、映像でも韓国語が学べます。

講師:李泰文 テーマ:「韓国人の飲酒歌舞って何?その歴史と文化」

受講料:550円

10月

国際文化理解講座 14日、21日、28日(水) 14時~16時

チェコ出身のダニエラさんに文化を学んだり、チェコビーズを使ったアクセサリーも作ります。

受講料1,650円(全3回)+材料費1,650円、10/5申込締切

外国人のための「高校進学ミニ・ガイダンス」

17日(土) 14時~16時 無料、先着10世帯、通訳あり

対象:中学生、中学既卒者、保護者、支援者

メール(koko.guidance@gmail.com)に申込

おもてなし観光ボランティア通訳セミナー

24日(土) 10時30分~12時、13時~15時

外国人観光客を川崎で案内する際の心構えやポイントを学びます。英語の講義と実習もあり。講師:英語講師 ルース・ファロンほか 受講料:2,000円

中国語による国際理解講座 7日(土) 10時~12時

ネイティブの講師でしか得られない情報や体験を映像付きで学びます。

講師:曹立浩 テーマ:「最近の中国ドラマとその社会現象」 受講料:550円

災害時通訳ボランティアセミナー 14日(土) 14時~16時 無料

災害が起こった時、外国人市民にどんなサポートが必要なのか。後日、ロールプレイングもあります。講師:(一財)ダイバーシティ研究所 田村太郎

11月

外国人のための就職活動セミナー 28日(土) 10時~12時 無料

日本で働きたい外国人のために、就職活動の流れやマナーについて学び、面接も実践練習します。先着20名

災害時多言語支援センター設置訓練 29日(日) 無料

避難所を想定した外国人市民への聞き取りなど、ロールプレイングをします。

「やさしい日本語」研修会 5日、12日(土、予定) 無料

外国人市民へのお知らせ文に使う「やさしい日本語」を学び、実際にボランティアとして活動します。

12月

「SIGNAL」冬号発行 15日

川崎市国際交流センターの季刊誌(年4回:6月、9月、12月、3月の15日)

※内容・開催時期は、都合により変更になることがあります。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じて開催します。ご協力をお願いいたします。

川崎で頑張っている 民間団体紹介

43



川崎郷土研究会

川崎郷土研究会は1955年(昭和30年)に市内の小中高の社会科系の教職関係者を中心に発足し、地域の暮らし、産業、歴史、地理的条件などを調べ、討論し、まとめて、毎年「川崎研究」誌(*1)で発表しています。今春発行した第58号では「江戸期の橘樹郡四領の村運営」「稲毛本庄」「宮内常楽寺の十二神将像」「アミガサ事件」「飛び地 岡上」「八幡信仰」「稱名寺」関係など、地域でもあまり知られていない事柄が紹介されています。

会が主催する講演会では「縄文時代からの交通の要所として栄えた川崎」とか、夏期講座では「多摩川の近代改修にみる防災の主役、自助、共助の教訓」など地域密着のテーマが中心です。また、市の文化祭参加行事として、小中学生の社会科研究発表(*2)のほか、県内外の伝統産業の見学会や市内の深掘り見学をする巡検なども開催しています。地域の伝統文化や産業に強い興味を持つ外国人市民が参加することもあります。

ご興味のある方は日本人はもちろん、外国人の方、留学生の皆さんも一緒に、川崎の歴史を研究しましょう。

(*1) 第55号~58号は交流センター2階の図書・資料室にあります。

(*2) 下の写真(小中学生の社会科研究発表)



川崎郷土研究会

代表者: 吉田 武

連絡先: ☎03-3721-1889